

9. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

修学支援

担任制により、教員が少人数の学生に対して修学面での細かな指導をしている。また事務職員以外に舎監、寮監、寮母という学生の生活指導支援を行う職員を配置している。学生それぞれに応じた細やかな対応を目指している。

進路選択支援

本学学生の傾向として、僧侶を目指す学生と進学希望者が多い。僧侶を目指す学生には修行体験や、師匠の紹介等を行っている。進学希望者には指定校卒への推薦や、受験に関して個別に指導している。このほか、定年退職後に入学した社会人学生には、希望に応じてNPOやボランティアの紹介等、生きがいをサポートしている。

健康支援

建学の精神フィールドワークの四国歩き遍路と、その予行練習としてのウォーキングを行い学生の健康を促進している。体育館を整備、開放している。

食堂では職員による栄養面を熟考した三度の食事が提供されており、教育の一環として修行道場に準じた食事作法を実践している。また、「和の養生学」や「精進料理」の講義もあり、医食同源の考えに基づく食育を試みている。

このほか本学では、精神的・身体的な疾患や障がいを持つ学生を多数受け入れてきたため、瞑想坐禅による心の安定を図るとともに、東洋医学の講義実践等により心身の健康的な生活を支援している。

経済的支援

本学独自の授業料減免の制度を設けるとともに、諸般の事情で授業料が払えない者については、授業料の分割制度を設けている。社会人入試入学者には入学金の半額減免制度と優待制度、指定校推薦入学者には入学金半額、授業料免除の特典を設けている。